



記念樹

発行者
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2016年10月15日 Vol.116

大分記念病院の診療体制における最近の変化と今後の展望

呼吸器内科専門医3人体制と救急告知病院体制の始動

当院は35年前血液疾患を専門的に診療す

る内科専門病院として開設され、以来日本血液学認定の血液研修病院として中部医療圏における血液疾患診療の一翼を担って来ました。近年、大分県立病院、大分大学病院、アルメイダ病院、大分赤十字病院などの大規模総合病院の受け皿病院としての役割と重要性が益々増加しています。

ところで、白血病、再生不良性貧血や骨髄腫などの血液疾患の診療には、血液だけでなく、からだのあらゆる臓器についての専門的知識が欠かせません。それ故、当院では血液疾患の他に消化器、循環器、糖尿病、神経内科、心療内科など内科全般を専門的に診療出来る先生方に参加して貰い、総合内科を目指したチーム医療を推進して来ました。開院より数年後に人工透析を始めたきっかけも骨髄腫のため腎不全を合併した患者さんを自分達で治療し救いたい思いからでした。また血液疾患の診療には肺炎や敗血症などの感染症の合併が避けられませんので、以前から呼吸器感染症の管理能力の向上が喫緊の

課題でした。

幸い2年前、呼吸器専門医兼指導医の医師が当院に赴任し、昨年から更に二人の呼吸器専門医を常勤として迎えた結果、当院の呼吸器内科は今年から専門医3人体制となりました。これにより近年著しく向上したCT検査機能のもと、気管支内視鏡検査による肺癌その他診断困難な肺疾患全般の診断能力が向上し、診療レベルにおいても血液疾患合併感染症や高齢者に多い嚥下性肺炎や慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群など、人工呼吸器の利用率の上昇とともに呼吸器管理能力が飛躍的にアップしました。その効果はリハビリにも波及し、以前から行っている運動リハビリや脳卒中リハビリに加えて、最近

は肺炎、慢性閉塞性肺疾患、喘息などの呼吸器疾患患者さんのための「呼吸器リハビリ」とともに悪性リンパ腫や骨髄腫などの造血器腫瘍の患者さんのために「癌リハビリ」を開始しました。これにより喀痰の排泄を容易にしたり、呼吸法により呼吸困難を軽減したり、筋肉の萎縮を予防したりする効果が期待

されます。

なおこれまで当院の時間外特に夜間の救急体制につきましては、医師数その他の関係で不十分な感がありました。診療体制の強化と医師の増員により今年3月に救急告知病院の認定を受けることが出来ました。これにより地域の患者さんの安心と満足度の向上に寄与するものと期待しています。

以上、当院の診療機能の最近の変革についてお知らせしましたが、私たち病院スタッフ一同は、今後も患者さんのニーズに耳を傾け、診療機能と介護ケアレベルの改善向上に努めて参りたいと存じますので、地域の皆さま方のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

(豊田)



「結核は昔の病気と 思っていますか？」

風邪を引いて、治ったはずなのに咳が続くことはありませんか？

咳や微熱が2週間以上続く場合は肺結核の可能性も・・・。

肺結核は過去の病気ではありません。第二次世界大戦後に薬剤の開発が進むとともに罹患者は激減しています。しかし、近年も年間約2万人が新たに結核を発病、2千人が死亡しています。他の先進国と比べてもその数は多く、まだ現在進行形の病気といえます。

肺結核とは、結核菌が呼吸器に感染することで起こる感染症です。肺以外の結核もありますが、主に肺の内部で炎症を引き起こし、症状が進むと呼吸困難になり、死に至ることもあります。

結核菌は、発病した人が咳やくしゃみをするときに出るしぶきに含まれており、肺結核は、そのしぶき、ま

たしぶきの水分が乾燥したものを吸い込むことでうつる病気です。

結核菌が体内に入ると、通常の免疫力がある人でも感染が成立します。結核の感染率は患者さんの家族で25～50%、時々会って顔を近づけて話す人で2.5～5%、同僚、友人など会ったときにも距離のある人で0.25～0.5%程度とされています。感染率自体はそれほど高いものではありません。

結核菌に感染した人の免疫力が低下する状況になると発病します。発病すると人に伝染し、感染力を持つようになります。糖尿病、胃切除後、癌患者さん、ステロイド使用、透析治療中、エイズウイルスに感染している人、不規則な生活、偏食、栄養障害、体重減少などがある人に注意が必要です。ただし、皆が発病するわけではなく、だいたい感染者の

10%が発病するといわれています。

肺結核を発病したときの症状は風邪に似ています。初期症状が軽いのでなかなか自分では気づかないことがしばしばあります。「風邪かな？」と思われる症状が2週間以上続くときは、肺結核の可能性があります。結核が疑われる症状のある患者さんが受診された場合、まずは胸部X線写真を撮影します。そこに肺結核を疑う陰影が確認されたら、続いて喀痰の検査に移ります。喀痰の

検査は1回の検査で結核菌が検出されない場合もあるので、3日連続での喀痰検査が勧められています。連日受診いただくこともままあります。また、診断の補助としてツベルクリン反応や採血検査を行うこともあります。

咳や痰が出る、微熱、体がだるいなどの症状が続くときは、ご自身、ご家族のために早めに医師の診察を受けましょう。
(向井豊)



大分記念病院 定例研修会

講演 「医療倫理～命はだれのものか」

～ダックス・コワートのケースの分析と検討

講師 豊田 貫雄 先生



6月9日(木)に開催された定例研修会は、当院名誉理事長の豊田貫雄先生の「医療倫理～命はだれのものか～ダックス・コワートのケースの分析と検討」と題したDVD鑑賞と講演でした。以下は豊田先生執筆の抄録です。

主人公のダックス・コワートさんは、1973年7月、不動産会社経営者の父親と一緒にテキサス州ダラス郊外の山林へ土地調査に出かけた際、突然車のエンジンが停止したので車の始動スイッチを入れた瞬間、火花が近くのガスパイプラインから漏れ出ていたガスに引火し大爆発が起こり、父親は死亡し、自らは全身の2/3以上の皮膚に火傷を負います。直に米国南部でのオイル事故対策の一環として作られた火傷治療センターにて治療が行われますが、彼は全身ガーゼで覆われ、水槽状のタンクに体全体をつり下げられた状態で行われるガーゼ交換の度に猛烈な痛みと苦しみでうめき声と叫び声をあげます。両目は潰れ、両手指が焼けついて握りこぶし状に一塊になり、腕や足の骨はむき出して、更に顔は変形し、頭髪も殆どありません。

入院後、約10カ月間治療をうけた後、ダックスさん自身の希望と同意のもとに、テキサス大学の精神科医とのインタビューが行われ、彼の主張をテーマにした“Please Let me die”というビデオが製作されます。その中で、ダックスさんは当初から大きな声で「お願いですから死なせてくださいと何度も

何度も訴えたが、自分の意向は無視され、治療は続けられた」と批判的に語っています。

元々彼はスポーツマンで、空軍のパイロットとして従軍したこともあり、将来民間航空機のパイロットになるのが夢でした。従来の医療倫理規範では、医療者は患者の命を救うため全力を傾倒して治療を行うことが最善とされ、そのためには患者の意向が無視されることも多々ありました。

しかし1970年代頃より米国で発展してきたバイオエシックス(生命・医療倫理)では、医療行為には患者の同意が不可欠であり、判断能力があり十分に説明を受けた成人が治療を拒否する場合、それがもし本人に深刻な害をおよぼすことになろうとも、その決定は尊重されなくてはならないとされ、1990年には米国連邦最高裁判所がそれを「自由の権益」として法的に認めました。事故から10年が経過し、結婚もし、弁護士としての仕事も出来るようになった時点でも、ダックスさんは「死なしてほしい」という自分の訴えを拒否された事実については一生許し難く、悔いが残るとして、自己決定権の大切さを訴え続けています。

私たち医療者はこのケースから、人間存在の意義、個人の人格の尊重、患者の意向と自己決定権の尊重の大切さを十分に考慮しながら医療を实践すべきことを忘れてはならないと感じました。



定例研修会
文化講演会

「大分方言について」



別府大学文学部 国際言語・文化学科 教授 松田 美香 先生



8月18日(木)に開催された定例研修会は、別府大学文学部国際言語・文化学科教授の松田美香先生をお招きして「大分方言について」と題して講演をしていただきました。松田先生には、お忙しい中お越しいただき、誠にありがとうございました。

以下は、松田先生に執筆していただいた講演の抄録です。

方言とは、「特定の地域のことば全体」を指す学術用語です。ヨダキー(おっくうだ)やシャーシー(騒がしい)は、「俚言」^{※りげん}と呼ばれる方言の一部です。方言区画についての研究結果から、大分方言は、豊日(ほうにち)方言地域と呼ばれています。豊前・豊後の「豊」と日向の「日」を取って付けた命名で、その範囲(北九州市から宮崎県北部)がおおよそ方言の通じやすい生活・文化圏内であるわけです。

さて、大分方言の特徴をいくつか紹介しましょう。まず、音声については、室町時代中ごろの発音が一部残っています。また、「連母音の融合」が盛んなことも特徴と言えます。アケー(赤い)、ヤシー(安い)、オイー(多い)、チョル(ておる)など、母音が続くくと一種類の母音になって長音化する現象です。そして、「～して」を～シチ、「～んで」を～ンジと言うのも大分方言的な発音です。ダブトン(座布団)、ドーキン(雑巾)、カダラ(身体)などと音が入れ替わるのは、発音方法や発音場所が似通っているためです。

文法的には、オクル(起きる)、マクル(負ける)など動詞の二段活用や、シヌル(死ぬ)、イヌル(去める)というナ行変格活用が残っているのは古めかしい一方、ミラン(見ない)、デラン(出ない)など短い一段活用の動詞は五段活用化の傾向を見せていて新しい変化もあります。可能の表現については、大分方言にたくさんの形式(言い方)があります。「読めない」だけでも、読みキラ、読まレン、読めん、読めレンなど。それぞれ「能力可能」「外的な条件可能(客観状況可能)」「内的な条件可能(主観状況可能)」の意味を表し分けます。大分方言では古い形式として(ラ)ルルがあり、そこに九州北部からキル、関西から可能動詞(読める)も伝わり、それぞれに細かく異なる可能の意味を与えて表し分けることで共存させたと考えられます。

単語の面では、ナオス(片づける)、メンドシー(恥ずかしい)、リゴー(車がすれ違う)、9時前10分(時刻の言い方)が気づかない方言です。珍しい方言として、ウッシャー・ウッセー(ますい)、スモツクレン・ヘモヘクレン(役に立たない)、チューカンハル(調子に乗る)、モーガンコ・ヨーラク(つらら)などがあります。

最近では新しい方言が報告されたり、大学生が好んで方言を使ったりする現象が生まれています。また、2011年に起きた東日本大震災では、遠方から支援に行った医療関係者が現地の方言が分からずに困ったことから、「医療現場で必要な身体語彙」等を紹介するHPや紙媒体の方言集が作成・配布されるようになりました。今回の熊本大震災でも、この取り組みが生かされました。

私は方言が日本語に活力を与え、豊かな表現力を支えていると実感しております。ですから、方言はこの先も消滅しないのではないかと思います。

※俚言(りげん)とは共通語に対して、ある地方だけで使用される単語。



ヘモフィリア・サマーキャンプ



8月20日(土)、21日(日)の2日間、ヘモフィリア・サマーキャンプが大分県宇佐市安心院町にある家族旅行村「安心院」の交流研修センターで開催されました。今年は分友会独自の開催となり、患者さんとそのご家族、医療スタッフ、成人ボランティアの方合わせて38名の参加となりました。また、大分大学医学部附属病院小児科教授の末延先生にも参加して頂くことが出来て、実りの多いキャンプとなりました。

1日目は入村式が終わった後、キャンプ恒例の勉強会として自己注射のチェックとレクチャーが行われました。実際に自己注射を行っている患者さん達が、薬剤溶解の仕方や針の取り扱いについてそれぞれの注意点や工夫している点を説明しながら行い、家族や看護師によるチェックがありました。引き続いて夕食前に、男女別に分かれて座談会を行いました。「女性と血友病」「病気の理解と自覚」「血友病治療を取り巻く環境の違い」など様々なテーマについて話し合い、患者さんやご家族の経験から得られた生の声を聞くことが出来ました。自己注射している中高校生は病気の理解と体調管理がきちんと出来

ていて、先輩たちが感心していました。夜は美味しいバーベキューと花火大会を行いました。子供達は準備や片付けを手伝いながら、久しぶりに会った友人達との時間を楽しく過ごしていました。

2日目は早朝7時に皆でラジオ体操をして体を馴らし、朝食後に退村式を行いました。その後バスで東椎屋の滝へ行きました。滝から出るマイナスイオンをたくさん浴びて、暑さを忘れリフレッシュ出来た一時でした。

今回のサマーキャンプに参加して、子供たちの元気の良さを見、患者さんやご家族のそれぞれの病気に対する思いを知ることが出来、とても学びの多いキャンプとなりました。

分友会の皆さん、成人ボランティアの皆さん有難うございました。



作りま専科

～さつまいもと鶏肉の炒め物～

材料(2人分)

さつまいも	140g	
鶏肉(もも)	140g	
顆粒だし	小さじ1/3	
片栗粉	小さじ1と1/3	
A	醤油	大さじ2/3
	砂糖	小さじ1と1/3
	マヨネーズ	小さじ1/2
	水	大さじ1/2強
	油	小さじ1

作り方

- ① さつまいもを1口大に切り、耐熱皿に並べる。
- ② 軽くラップをかけ、600wのレンジでさつまいもが軟らかくなるまで4分程加熱する。
- ③ 鶏肉は一口大に切り、ビニール袋に入れ顆粒だしを加えよくもみ込む。
- ④ 片栗粉を加え再びもみ込む。
- ⑤ フライパンを熱し、油を加えて鶏肉をしっかり焼く。
- ⑥ さつまいもを加え軽く混ぜ合わせる。
- ⑦ 弱火にしてAの調味料を加え、ふたをして5分程おく。
- ⑧ 全体をもう一度混ぜてお皿に盛りつける。
お好みで千切りにしたネギや大葉を飾ると彩りが良くなります。

また旬のきのこを加えてもおいしく作れます。

インフォメーション



6月18日(土)19時から、毎年恒例の新入職員歓迎会が南大分体育館で開催されました。今年も例年通り玉入れ大会を行いました。今年は職員が約220名、子供たちが約80名と多くの参加があり、大変盛り上がった大会となりました。

玉入れ大会は今年で6年目となり、それぞれのチームが慣れた様子で作戦を立てながら試合に臨んでいました。各試合とも熱戦が続き、試合が行われる度に会場は大いに盛り上がりました。

前半戦と後半戦の間に、会場の子供たちによるエキシビジョンマッチを行いました。男の子チームと女の子チームに分かれ、互いに一生懸命玉を投げる姿は大変微笑ましく、会場を賑わせてくれました。

接戦の末、高田先生、今村先生、東看護部長率いる「3A病棟・栄養科・情報システム管理課」の合同チームが見事優勝に輝きました。結果発表の後、新入職員の自己紹介がありました。皆、元気よくアピールし、最後まで楽しめました。また、今大会も負傷者が出ることなく無事に閉会を迎えることができました。

参加された職員の皆さん、お疲れ様でした。この大会を通じて様々な職種の人と交流できたと思います。これからもお互いに助け合って病院を盛り上げていきましょう。

優勝



新入職員の紹介

7月から9月に入社した新入職員3名をご紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。



毎日元気で明るくを目標にがんばります。

佐藤 真由美
(看護部)



患者さん中心の医療を実践しているよう日々努力していきたいです。

中野 典子
(看護部)



どんな時でも謙虚な気持ちと感謝の気持ちを忘れずにつねに笑顔をやさず頑張りたいです。

檜垣 美由記
(看護部)

編集後記



日増しに秋の深まりを感じる季節となり、朝夕はめっきり涼しくなりましたが皆様、体調など崩されていないでしょうか。

今回の巻頭言は呼吸器内科専門の医師が3人となったこと、そして救急告知病院体制が始動したという最近の当院における診療機能の変革をお伝えする文章です。診療レベルの飛躍的なアップと、時間外である夜間救急対応が可能になったという新しい情報を皆様にお知らせし、知ってもらうことで病気に苦しむ一人でも多くの患者さんやご家族の手助けになればと思います。

毎年恒例の「ヘモフィリア・サマーキャンプ」では、患者さんやそのご家族と一晩を共にし、コミュニケーションをはかることで普段の診療の場では体験できないことを沢山見聞きし、感じることができました。この経験を実践に活かすべく、病院スタッフ一同、心を込めて安全で良質な医療とケアを患者さんに届けていきたいと思っています。(図書室 河野)

がん患者さんやそのご家族、介護援助者の方々の交流会です。一般の方もご自由にご参加ください。

リレー・フォー・ライフ 大分サロンのご案内 毎月第3日曜日 午前10:00~12:00

当院の1階多目的ホールで開催しています。会費は不要です。

主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分

医療法人 大分記念病院

基本理念

1. 私達は法人各施設・各部門が協力して、患者中心のチーム医療と利用者中心のチームケアを実践することにより患者及び利用者の満足度と幸福に貢献します。
2. 私達は常に診療レベルの向上を図ると共に地域住民の皆様へ安全で良質な医療とケアを提供します。
3. 私達は地域の医療、福祉機関との緊密な連携を保ちながら一般急性期医療および地域包括ケアを実践します。

基本方針

1. 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた全職員による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
2. 患者及び利用者の皆様の立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
3. 患者及び利用者の皆様の満足度を高めるべく、心のこもった医療と介護サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

